

ほほえみクラブ

令和2年 1月号 No.88



あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

ほほえみギャラリー



Y様の作品



O様の作品

一月（睦月・むつき）

親族が互いに往来し、仲睦まじく宴をする月であるからといわれています。また、稲の実を初めて水に浸す月を指す「実月（むつき）」から転じたという説もあります。

<1月の他の別名>

- ・正月（しょうがつ）・祝月（いわいづき）・早緑月（さみどりつき）
- ・始和（しわ）・太郎月（たろうづき）・王春（おうしゅん）など

『ヘルパーはこれからもご利用者様を支えます』

代表取締役 宮本 和明

明けましておめでとうございます。令和として初の新年を迎えました。昨年は消費税も上がり家計にとって大変厳しい年になったことと思います。今年は健康で穏やかに過ごせる1年であることを願っております。さて、高齢者は年々増えており、2040年には日本の高齢者人口は最多となります。

団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)となる2025年以降、高齢化と人口減少は一気に進み高齢者人口はピークを迎えることとなります。現在、日本の人口の65歳以上の高齢者が占める割合は、平成2年の12%から平成30年には28%に増加、令和7年には30%と日本は超高齢社会の真っ只中にあります。一方、介護を支える現場でも起きています。ヘルパーの高齢化と人手不足です。ヘルパーの年齢は20代が1%、50代が35.3%、60代30.2%、70代7.5%となっており50歳以上が全体の7割以上、60歳以上が4割に迫っています。

在宅の高齢者を支えるホームヘルパーの高齢化、最近では80代のヘルパーも珍しくない状況まで来ております。多くの訪問介護事業所が募集しても若い人が来ない、若い人は介護施設に流れている状況です。

今後は益々元気な高齢者ヘルパーが地域を支える担い手として活躍する時代になっていきます。高齢者ヘルパーには良い点がたくさんあります。若い人と違い家事は一通り上手にこなします。人生経験を生かし、ご利用者様と相談しながら適切に調理や掃除をすることができます。

国は2020年に施設を含めた介護職が約25万人不足すると試算しており、そこを外国人労働者で埋めようとしております。日本の高齢化は止められません。訪問介護のニーズは今後さらに増えていきます。ヘルパーはこれからもご利用者様を支える為、益々必要になって参ります。

ヘルパーの原動力はご利用者様からのねぎらい、激励、温かいお言葉です。日々現場で働くヘルパーに、ご利用者皆様のご支援ご協力を、今後共どうぞ宜しくお願い申し上げます。

